

吐き気

重力ではない重さに包まれ
葉の詰まった白い袋を見つめる
吐き気がこみ上げてくる

整えられた部屋
並べられた本
ああ、頭痛がする

小さな画面の中で
きらびやかな画像が踊り
意味を持つ文字が流れる

ラフマニノフの交響詩が
身もだえする旋律で
この体を締め付けてゆく

吐くものなどないのに
自己自身を捨てるために
ただそのために押し寄せてくるもの

思考ではなく
それを遥かに超える力が
この延髄に暴力を振るう

こいつを騙すこと
そのいとも容易い筈のことが
どうしてもできない

動かないものたち

温度のないものたち
触れえないものたち

僕の故郷はないのだ
吐き気がする
吐くものがない

(2012.10.21)